



# 関町小通信

平成28年6月29日  
練馬区立関町小学校  
学校だより 7月号

## 称賛より安全を考え、運動会の組体操は「休止」します

校長 福岡 勤

まずは、6月15日（水）に臨時保護者会を開催して御説明申し上げましたこのたびの本校非常勤職員による学校徴収金（給食費）の着服の件につきましては、多大なる御心配や御不安をおかけいたしましたことに対し、心より深くお詫び申し上げます。今後は、再発防止に向けて万全を期すとともに、給食費以外の教材費等の学校徴収金につきましてもその管理・運用には細心の注意を払うなどして、全力で信頼回復に努めてまいります。これまで同様、保護者・地域の皆様の御理解を賜りますようお願いを申し上げます。

さて、「組体操」については、近年、全国各地においてその危険性や安全対策上の問題が指摘され、大きな社会問題に発展しております。都立学校においては、東京都教育委員会から、不可抗力によるけが等の危険性があることから、いわゆる一部の児童・生徒に多大な負荷がかかり崩れた際に児童・生徒の安全を確保できない技として「ピラミッド」と「タワー」の名前を挙げ、これらの技は平成28年度は原則として休止する旨の対応方針が出されています。練馬区教育委員会では、これに加えて跳んできた児童・生徒を受け止める技についても実施をしない旨の方針が出されています。

しかし、この5月・6月に行われた他校の運動会では、「ピラミッド」の他、この規制外となるいわゆる「サボテン」「ひこうき」などの二人・三人技や「倒立」などの一人技において、バランスを崩したり地面に落下したりするなどして骨折等のけがを負う事故が続発していたことが報告されております。

本校では、児童の体力や実態を考えた技の構成

の点や、運動会当日のみならず、練習段階からの指導体制や練習環境の十分な整備などの安全配慮には限界がある点から、これまで第6学年児童が伝統的に行ってきた組体操は、今年度は残念ながら「休止」することにいたします。

児童にとっては、校庭の砂が手足の裏や膝に食い込む痛みを耐え、肩や腰に友の命の重さを受け止めながら歯を食いしばり、大技がピタッ！と決まった瞬間に拍手喝采を浴びることを励みに練習から真剣に取り組んできたものが組体操でした。観覧者にとっては動から静に至る過程の間にドキドキし、技の完成を目にした瞬間に心を揺さぶられたものが組体操でした。昨年度の保護者アンケートにも「感動した」「涙が出た」と多くの称賛の声が寄せられる組体操を休止する決断は私としても大変残念です。児童の安全を最優先した措置でありますので、当該学年の児童の保護者の方のみならず、下学年の児童の保護者の方々、地域の方々には、格段の御理解をお願いいたしたいと思えます。代替の演技種目については、現在当該学年の担任と協議中です。9月24日（土）の運動会までの「お楽しみ」としていただきたいと思えます。

また、この組体操の演技の他にも本校の運動会において安全上のリスクが高いものが「騎馬戦」であると考えております。こちらも「組体操」と同様に小学校学習指導要領に示されている内容ではありませんが組体操同様、運動会の伝統的な種目であります。こちらは従来どおり、児童が落下等によりけがを負うことがないように多数の教職員を配置して、騎馬の立ち回り先や騎馬の周囲での見守りなどの安全策を講じて実施いたしますので、御理解をいただきたいと思えます。